

令和5年度 浜松市立芳川幼稚園評価 報告書

【園目標】 自分が大好き みんなも大好き

1 評価方法と公表の流れ

(1) アンケート実施

○保護者・職員共通 「幼稚園アンケート」

職員…正規職員5名、8月（前期）と12月（後期）の実施。

保護者…全家庭（22戸）対象、12月の実施。

○職員 「園経営・自己振り返りアンケート」

職員…正規職員（5名）対象、12月の実施

(2) 園職員によるアンケート集計と話し合い

集計されたアンケートを職員で考察し、成果や課題、改善案を話し合う。

(3) 『夢をはぐくむ園づくり推進協議会』での協議

夢をはぐくむ園づくり推進協議会委員、PTA会長、副会長、教職員が参加し、本年度の園経営、また次年度について協議・検討を行う。

(4) 令和5年度幼稚園評価の公表

以下の方法で、幼稚園評価を公表する。

・芳川幼稚園公式ホームページ

・さくら連絡網による、保護者への配付

2 「幼稚園アンケート」結果

(1) 保護者・教職員の設問比較

以下の項目について、あてはまる数字に一つだけ○をつけてください。

4…そう思う 3…ややそう思う 2…あまり思わない 1…そう思わない 0…わからない

	設 問		教職員		保護者
			前期	後期	
子供は	1	幼稚園に通うことを楽しみにしている。	3.6	3.4	3.9
	2	生き生きと幼稚園生活を送っている。	3.4	3.8	3.9
	3	先生や友達と遊ぶことを楽しいと感じている。	3.6	3.6	3.9
	4	自分のことは自分でしようとしている。	3.2	3.0	3.5
	5	幼稚園での出来事を話している。			3.6
幼稚園は	6	教育目標や方針を伝え、保育を進めている。	3.6	3.6	3.9
	7	遊びを通して学ぶことを大切にし、個々に応じた指導をしている。	3.8	3.6	3.9
	8	協力して子供たちの教育に当たり、組織的に教育活動に取り組んでいる。	3.6	3.6	3.9
	9	子ども達の自立に向け、発達段階や実態を踏まえた保育に取り組んでいる。	3.8	3.4	3.8
	10	子ども達に基本的な生活習慣が身に付くよう指導している	3.2	3.6	3.9
	11	生命を尊重する心や、自然を大切にした体験活動を行っている。	3.8	3.8	3.9
	12	集団生活や社会のルールが身に付くよう指導している。	3.6	3.8	3.8
	13	子どもの安全・健康管理に対して必要に応じた対応をしている。	3.8	3.8	3.9
保護者は	14	子育ては楽しい。			3.6
	15	子供と触れ合う時間を大切にしている。			3.5
	16	規則正しい生活を心掛けている。			3.6
	17	あいさつや身の回りの始末など、基本的な生活習慣を身に付けさせている。			3.4
	18	園と協力して子どもの成長を見守っている。			3.8
	19	園の行事や参観などに参加している。また、楽しいと感じている。			3.9
家庭との	20	安心して話したり、気軽に相談したりできる雰囲気づくりに心掛けている。	3.8	3.8	3.9
	21	必要に応じて、先生と保護者が子どもについての情報交換を行っている。(送迎時・電話・手紙など)	3.8	3.6	3.9

(2) 保護者の自由記述

① 芳川幼稚園の行事や活動などで、子供の成長につながると思われるものがありましたら理由を添えてご記入ください。

- ・運動会や生活発表会では、子供の日々の努力や成長を見る事が出来たので良かったです。
- ・野菜の栽培持ち帰った野菜は食べてみようという気持ちになるようで、とりあえず口に入れるという姿が家庭でみられる。自分で育てたからこそ興味関心がわくのだと思う。
- ・最近では大人でさえ、元の姿がわかりにくい食品が多い中、土や水、種といったはじまりの姿と育てる過程を体験させてもらえるのは非常に有り難いです。

② 園の活動において、ご意見や要望、お気づきの点などがありましたらご記入ください。

- ・もっと園児の数が増えたらいいなあと思います。理由はこれだけではないと思いますが現在の預かり保育のない状態では仕方ないかと思います。自分は専業主婦なのでなんの困難も感じませんが、これが仕事を持っているとなると現在の園では登園させることが不可能です。公立園を今後どうしていくのか、浜松市がどう考えているのか気になるころですが、現時点での自分の感覚としては令和の共働きの時代に合っていない。園児数が減少し続けていてもそれは当たり前の事だと思います。預かり保育のある公立園があると言っても限定的です。市としての積極的対策がなされていないと思うので行く行くは閉園、統合となるのも仕方ない事と思いますが、公立園の公平性、公共性は失くしてはいけないと思います。とはいえ、未就学児の子どもたちの生活サイクルを見ると今の公立園の登園、降園時間が理想的なのだろうなとは思っています。親の立場としては胸のモヤモヤする状態です。

- ・我が子に対する先生方の手厚い配慮は感謝してもしきれません。お陰様で食べる事に楽しさや嬉しさを日々感じている子どもたちの姿を目の当たりにして芳川幼稚園で良かったなと心から思っています。ありがとうございます。

2 職員による「園経営・自己評価アンケート」集計

(1) 設問ごとの結果

評 価 内 容	評 価	
	前年度	本年度
① 園の教育理念や教育方針を理解し共感している。	3.4	3.6↑
② 幼稚園教育要領を理解し、幼児の姿や環境の構成、保育者とのかかわりなど具体的な事例を思い浮かべることができる。	3	3.2↑
③ 指導計画は、幼児の興味や関心、これまでの生活や予想されるこれからの生活なども考慮し作成している。	3	3.4↑
④ 行事は、幼児の生活上の意義を十分に検討した上で、指導計画に組み入れている。	3.8	3.0↓
⑤ 指導計画に基づいて、幼児が主体的にかかわりたくなるような安全で清潔感のある環境構成をしている。	2.8	3.2↑
⑥ 楽しい雰囲気の中で、安定して遊び込めるように遊具や用具、素材など質・数量を配慮して環境構成をしている。	3	3.4↑
⑦ 幼児の活動がより豊かになるように幼児の発想を柔軟に取り入れ、活動の展開に応じて環境の再構成をしている。	2.8	3.4↑
⑧ 幼児の発達や生活を見通し、季節の変化に応じた環境構成をしている。	3	3.2↑
⑨ 異年齢の幼児が自然に交流できるような環境構成をしている。	3	3.4↑
⑩ 朝の登園時は特に管理表チェックと視診を大切にして幼児の体調が悪くないかを確かめている。	4	3.6↓
⑪ 体調不良児への適切な処置（検温など）と的確な対応（家庭連絡）をし、事後の確認連絡も行っている。	4	3.4↓
⑫ 園内研修で学んだことを、翌日の保育に活かしている。	3.2	3.6↑
⑬ 研修会や研究会には自己課題をもって参加し、事前にその内容を確認したり、自分なりの考えをまとめたりしている。	3.2	3.6↑
⑭ 自分の保育については自己課題をもって計画と反省を行うと共に、保育のあり方や悩みについて他職員や主任、園長と話し合っている。	3.2	3.4↑
⑮ 園の遊具や教材についてその特徴や基本的な使い方を知っている。	3.4	3.2↓
⑯ 園の遊具や教材についてどんな使い方をするのか、どのような使い方が危険か予測できる。	3.6	3.6
⑰ 子供を取り巻く様々な状況について、背景・原因・実態はどうであるか興味・関心をもっている。	3.4	3.8↑
⑱ アレルギー・コロナ・自立の遅れなど、最近多く見られる問題について興味・関心をもっている。	3.6	3.8↑
⑲ 幼小連携の意義やあり方について興味・関心をもっている。	3	3.6↑
⑳ 子供たちの安心・安全に関する危機管理について興味・関心をもっている。	3.8	3.6↓

(2) 職員により記述回答

<自園の強みに感じていること>

◎職員集団として

- ・職員間の連携が取れている。
- ・必要な報告が互いにしっかりとできている。
- ・職員の経験層が厚い。

◎施設・保育環境

- ・園児一人一人が安心して登園し過ごすことができるよう、配慮している。
- ・人数に対して、広い園庭が整備されている。
- ・清掃が行き届いていて、清潔感がある。

◎保育の充実

- ・異年齢交流を日頃から積極的にしている。
- ・職員がそれぞれの専門性を生かし、日々の保育を工夫している。

◎少人数保育による個々への寄り添い

- ・少人数のため、一人一人の子供や保護者に丁寧にかかわることができる。
- ・個々の成長に寄り添い、発達段階を踏まえて保育や支援を行っている。

◎保護者・地域

- ・園運営に対して保護者の理解がある。
- ・保護者と常に連携し、同じ思いをもって教育を行っている。
- ・地域から外部講師を招いたり、田んぼに行ったりして、本物に触れる体験が充実している。

<課題と感じていること（保育・研修・保護者対応など）>

- ・様々な特性をもつ子がいる中で、集団としての育ちを意識していくこと。（発達支援）
- ・子供が主体的になる遊びの環境構成
- ・少人数ゆえに、教師が必要以上に声を掛けたり、先回りして援助してしまったりする場合があった。
- ・多くの人数で遊んだり行動したりする機会が少ない。
- ・インクルーシブ教育の推進

3 幼稚園評価アンケート集計後の全体考察と改善策

(1) 全体考察（○成果と▲課題）

- 「幼稚園アンケート」の結果では、全般的に保護者からの高評価が多く、園の教育活動に対して御理解・御協力をいただけていると感じた。
- コロナ禍が終わり、保護者は体験を重視した活動を特に評価していることが分かる。
- ▲設問4「子供は自分のことは自分でしようとしている」と設問10「幼稚園は子供たちに基本的な生活習慣が身に付くよう指導している」に対して、教職員と保護者間で捉えの差大きかったり、他項目と比べて少し低い結果となったりしている。また、保護者のみ回答の『保護者は』という大項目に関して、数値が低い傾向が見られる。 【改善ア】
- 職員による「園経営・自己評価アンケート」では、昨年度のよりも評価が高まった設問が多く、教職員の意識や達成感の向上が見られた。
- ▲設問③、⑮の指導計画や教具教材活用についての教育活動全般にかかわることについて、低い数値が出ている。 【改善イ】
- ▲設問⑩、⑪の健康管理・安全について、昨年度よりも数値の低下が見られる。 【改善ウ】
- ▲特に日頃の教育活動（指導計画）について、課題や悩みをもつ教職員が多いことが記述回答から分かった。 【改善イ】

(2) 上記の課題に対する改善策とその他の取り組み

改善ア：発達段階に適した基本的な生活習慣の指導と支援

普段から園児の年齢、またそれぞれの発達段階によって、基本的な生活習慣の指導を段階的に行っている。教師が園児それぞれの特性を大切にしながら、一人一人に合わせて励ましたり、手を貸したりして、その中で個々の成長を確認していく。そのために、発達支援教育の知識を園全体で深めるよう、研修の機会をもつようにしたい。加えて、それらのことを登園時や降園時の際保護者に伝えながら、より深い連携を図っていく。

改善イ：教育活動に関する研修の充実

週日案（教育計画）の作成や職員間の共通理解は随時行っている。しかし、全学年単学級ということもあり、相談し合ったり、参考にしたりという機会をなかなかもつことができない。子供たちの力を伸ばすためにはどのような働きかけを行ったらよいのかを来年度は『研修テーマ』と位置付け、園内研修の充実を図り、教師が自信をもって教育活動ができる環境をつくる。また、園外研修や保育参観にも積極的に参加をし、自己の力量を高めるようにする。

改善ウ：園児の健康管理と安全

コロナ禍が終わり、前年度まで毎朝保護者が提出していた健康観察カードがなくなった。その変わり、本年度は、登降園時に保護者と園児の体調について直接聞き取りを行っている。より密に継続する。また、安全面については、本年度中に大型遊具の補修工事を行い安全性が高めることができたので、園児に正しい使い方を繰り返し指導していくこととする。また、継続して1回程度の避難訓練を行い、有事の際に迅速に対応する園体制と園児の防災意識を高めていく。

その他の取り組み

園児の人数が減少している。少人数学級の利点はあるが、大人数で遊んだり、一緒に活動したりする経験がなかなかもてないでいる。飯田幼稚園との交流は毎年行っているが、次年度は回数を増やして、互いの園を行き来したり、中間地点の公園等で待ち合わせたりして一緒に活動する機会を増やす。

また、本年度3回行っていた『ペアトレリズム Lab（専門講師を招いたリズム遊び）』を来年度は4回に増やし、飯田幼稚園児を招きながら大勢で活動する楽しさを味わわせるとともに、体づくりを進めていく。

4 『夢をはぐくむ園づくり推進協議会』

令和6年2月中旬に夢をはぐくむ園づくり推進協議会委員、PTA会長、副会長、教職員が参加し、本年度の園経営評価の分析、また次年度の改善策と取り組みについて協議・検討を行った。

○園経営における推進協議会出席者の評価、助言等

《本年度の園経営について》

- ・評価アンケートの数値が向上している項目が多く「チームとしての日々の熱心な教育実践の成果」が反映されている。
- ・園の雰囲気がよく子供たちが生き生きとしている。
- ・先生たちも園生活を楽しむことでそれが園児に伝わっていく。
- ・運動会や生活発表会で年長のリーダーシップを見ることができた。
- ・少人数の良さがある。
- ・先生方が日々の成長を教えてくれるので、安心して園に通わせることができている。
- ・遊具の安全面向上については、保護者全体会で説明があり、とても分かりやすかったし、ありがたいと感じた。
- ・夢はぐの取り組みである様々な活動に工夫があり、充実したものであったことが保護者アンケートや園評価からうかがえた。

《園提示の次年度の改善案について》

- ・同学年でも発達の違いがあるために教師の力が必要だし、保護者としても個々に適した対応はありがたいと思う。教師の力を高めるためにも職員研修の場を組織として保障する取り組みは素晴らしいと感じた。

- ・飯田幼稚園との交流を増やすことはとても良いと感じる。園児が他者と関わる機会を増やしていきたい。
- ・年長児が活躍する場、**リーダーシップを発揮する機会**を増やしたい。
- ・今までの良いノウハウを生かしつつ、時代に合った新しい方法も積極的に取り入れてほしい。
- ・**園児の読書環境**について、伺う機会をいただきたい。以前から園は、絵本の蔵書や読み聞かせなど充実しているが、今後も「心の教育の推進」として位置付けてほしい。

5 『夢をはぐくむ園づくり推進協議会』での協議を受けて以下の部分に追記を行う。

3 幼稚園評価アンケート集計後の全体考察と改善策

(2) 上記の課題に対する改善策とその他の取り組み

その他の取り組み②

園児が園全体、また学級内でもそれぞれのリーダーシップを発揮し活躍ができるよう、園行事や日常生活の中で意図的な声掛けや育ちを支える機会をつくる。

その他の取り組み③

読書環境については、本年度も日々の教師による読み聞かせや月間絵本の購読をしている。本から連想する絵を園児が描いたり、物語の登場人物になってごっこ遊びを楽しんだりした。加えて、保護者や絵本業者による読み聞かせ、週末の絵本貸し出し等をして、保護者や他機関との連携も行っている。

また、夏には、子供たちが好きな絵本「わにわにくんのおふろ」を題材にし、全学年一斉に絵の具を使って園庭で大規模制作活動をした。子供たちは物語の世界に入り込んで、思い思いにイメージを広げ、表現を楽しむ姿があった。

次年度も同様に読書環境を充実させ、子供の心の深まりや思考を広げるような取り組みを随時行っていく。